



決め手くん通信!



こんにちは。ボクは、県産品PR用キャラクター「決め手くん」。県や関係団体などが取り組んでいる県産品販売促進活動の情報を、毎月インフォメーションで紹介します。

◆青森はリンゴばしでねんだよ!!

～ 東武百貨店池袋店で青森県食材フェア開催中! ～

東武百貨店池袋店レストラン街「スパイス」と青森県とのタイアップにより、10月22日(木)から40日間、青森県産食材を使用した「チャレンジフェア」が開催されています。

フェア期間中は、レストラン街にある49の全店舗で、県産食材約20種類(りんご、ながいも、にんにく、ほたて、ひらめ、シャモロックなど)を使用した和・洋・中67の新メニューが提供されます。

青森と言えりんごのイメージが強いのですが、今回のフェアは、来年の東北新幹線全線開業に向けて、青森がりんご以外にも美味しい食材がたくさんある「食宝王国」であることをPRするのがねらいです。

「チャレンジメニューフェア」に先立ち、10月20日(火)に開催されたマスコミレセプションには、産地側から三村知事をはじめ、JA全農あおもり、ぎょれん販売(株)、(社)物産協会の代表者も出席して、県産品の魅力を多にアピールしました。



青森ホタテと青森ヒラメの
クリームソース



SPICEポスター

◆「青森県フェアーパリパリりんごとイキイキほたて」 in 沖縄開催!!

10月16日(金)から20日(火)までの5日間、沖縄県内のジャスコ、マックスバリュなど32店舗において、今年で3回目となる「青森県フェア」を開催しました。

米、りんごやりんごジュース、ながいもなどの野菜、活ホタテなどの水産物、日本酒やお菓子などの販売や、観光パネル展コーナーを設け、青森県をまるごとPRしました。

気になる販売状況は、りんごではサンつがるのほか、弘前ふじやトキを販売し、メイン会場の南風原店において一日に5,000個を売り上げる日もあるなど、大盛況でした。

また、活ほたてはOXY元気で鮮度が良く、毎日の仕入れ分が早々に売り切れるほどの人気でした。

その他にも、新米の「つがるロマン」や「まっしぐら」、お菓子や日本酒、調味料などの売れ行きが大変好調で、沖縄県民の方に青森県の美味しい食材をお届けすることができました。

「青森県フェア」では、県産品の販売のほか、三村知事や産地代表者らが琉球ジャスコ(株)の幹部に対し、今後の青森県産品の取扱を要請しました。

今後とも、県とイオングループとの連携を生かした販売促進活動に取組み、青森県産品の販売拡大を目指していきます。



旬の青森りんご、美味しいですよ!



琉球ジャスコ(株)の幹部の皆様への取引要請

決め手は、青森県産。

◆**県知事賞に「トマ♡サバ」、 「あずき釜のとうもろこしクリーム詰め」！！**

去る10月26日(月)、将来の調理人を目指す高等学校調理科などの生徒が県産食材を使用した料理の腕を競う「青森県ふるさと食品開発コンペティション」が、(社)青森県ふるさと食品振興協会の主催により、青森市のアピオ青森で開催されました。

2回目を迎えた今年のコンペティションには、弁当部門に8作品、デザート部門に18作品の応募があり、書類審査を通過した10作品について調理実演と試食による最終審査が行われ、弁当部門では八戸調理師専門学校の方田千鶴さんの「トマ♡サバ」が、デザート部門では青森山田高等学校の大坂朋代さんの「あずき釜のとうもろこしクリーム詰め」が県知事賞に選ばれました。

知事賞に選定された作品は、弁当部門は三戸町の「SAN・SUN産直ひろば」、デザート部門は弘前市の「ANEKKO野市里(のいちご)」で、それぞれ商品化され、実際に販売されます。



あずき釜のとうもろこしクリーム詰め



調理実演審査の様子



トマ♡サバ

◆**ロシアに県産品を！モスクワでの見本市に初出展！！**

県と関係団体で組織する青森県農林水産物輸出促進協議会では、ロシアへの県産農水産物の輸出促進をめざし、9月30日(水)から10月3日(土)にかけて、モスクワで開催されたロシア・東欧で最大の食品見本市「PIR 2009 EXPO」に初めて出展しました。

見本市では、りんご、りんごジュース、ながいも、しめ鯖について商品提案したところ、現地の輸入業者、レストラン、ホテルなどのバイヤーから高い評価をいただき、特に、りんごジュース、しめ鯖は、「すぐにでも使いたい、どこで販売しているのか」という声がレストラン関係者から数多く寄せられました。

世界的な金融、経済危機の中で、モスクワ市内でもビル建設工事が途中で止まっているなど厳しい状況がうかがわれるものの、小売部門では、在庫調整は一段落したという声が多く、新規に高級スーパーがオープンするなど、富裕者層の購買力は十分あると感じました。

今後は、モスクワの輸出ルート確立に向け、輸入業者と商談を継続させるとともに、信頼のおける輸出パートナーの確保などに取り組んでいくことにしています。



青森ブースでのりんごの試食



しめ鯖のデモンストレーション



決め手は、青森県産。